

東京 2020 オリンピック競技大会 競歩・マラソン救護活動概要

眞鍋 芳明
中京大学

1. 概要

本稿は東京 2020 オリンピック競技大会において北海道札幌市で実施された男女 20km 競歩, 男子 50km 競歩, および男女マラソンにおける救護活動について, その概要を報告するものである。

2. 競技日程および救護活動時間

1) 競技日程

- 8月5日(木) 16:30男子 20km 競歩
- 8月6日(金) 5:30男子 50km 競歩
- 8月6日(金) 16:30女子 20km 競歩
- 8月7日(土) 6:00女子マラソン
(※当初の開始時間 7:00 より変更)
- 8月8日(日) 7:00 男子マラソン

2) 活動時間

- 8月5日(木) 13:30 ~ 20:00
- 8月6日(金) 2:00 ~ 12:00
- 8月6日(金) 13:00 ~ 20:15
- 8月7日(土) 3:30 ~ 12:15
- 8月8日(日) 3:30 ~ 12:00

3. AMS (Athlete medical station)

救護本部としてフィニッシュ横に AMS を設置。Dr. (医師), Ns. (看護師), PT (理学療法士), および ACA (Athlete care assistant) が常駐。ACA のみ白ビブスを着用し, 他は赤いビブスを着用。

ACA 内部はドライエリアと CWI (Cold water immersion: 冷水浸漬) エリア (Heat deck) に分かれ, 熱疲労が疑われる傷病者は Heat deck にて直腸温を測定しながら CWI を実施する。

4. RR (Recovery room) (図 2)

AMS とは別途, 簡易ベッドと冷却用のプールを RR に配備。ミックスゾーン奥に位置し, Ns. 2 名と PT 2 名が常駐。無線によって AMS と連携。

5. 男女 20km 競歩

1) 救護シフト

男子 20km 競歩

Dr. : 6 名. Nr. : 8 名. PT : 29 名. ACA : 8 名.

女子 20km 競歩

Dr. : 6 名. Nr. : 8 名. PT : 35 名. ACA : 5 名.

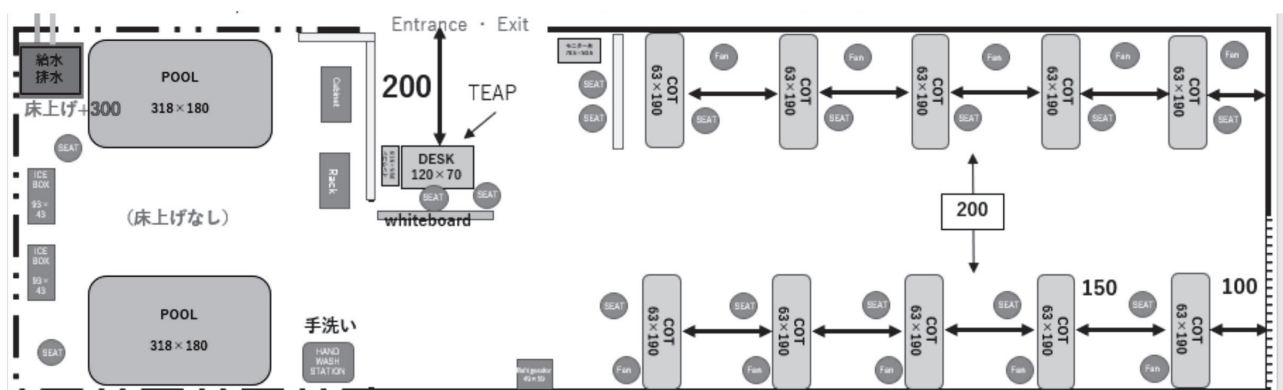


図 1 リカバリールーム

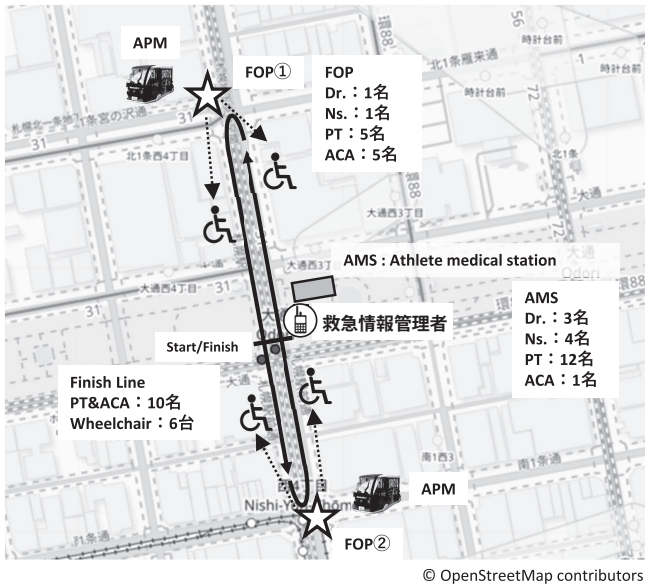


図2 男女20kmにおけるFOP救護配置図

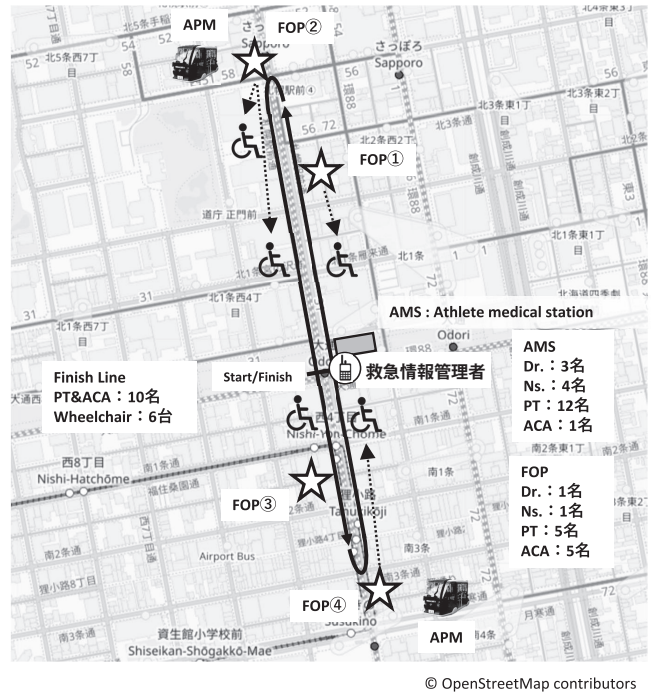


図3 男子50kmにおけるFOP救護配置図

2) コース概要

札幌大通り公園内にあるスタート/フィニッシュから南北に伸びる1周1kmの周回路を反時計回りに20周。

3) 救護配置図 (図2)

FOP (Field of play) 救護所の配備を図2に示す。

フィニッシュ横に無線を保持した救急情報管理者 (ACA) を配備し各FOPおよび車椅子担当者とメディカル無線で連絡を取りながら救護活動を行う。車椅子担当者は各FOPの人員から選出。

南北のFOP横にAPM (Accessible people mover) (別称: メディカルカート) を1台ずつ配備。必要に応じ、順走方向にて搬送を行う。また、APMはFOPへの資材運搬にも利用。

6. 男子50km競歩

1) 救護シフト

男子50km競歩

Dr.: 8名, Nr.: 10名, PT: 39名, ACA: 8名.

2) コース概要

札幌大通り公園内にあるスタート/フィニッシュから南北に伸びる1周2kmの周回路を反時計回りに25周。

3) 救護配置図 (図3)

FOP (Field of play) 救護所の配備を図3に示す。

フィニッシュ横にCommanderを配備し各FOPおよび車椅子担当者とメディカル無線で連絡を取りな

がら救護活動を行う。車椅子担当者は各FOPの人員から選出。

南北のFOP②および④横にAPM (Accessible people mover) (別称: メディカルカート) を1台ずつ配備。必要に応じ、順走方向にて搬送を行う。また、APMはFOPへの資材運搬にも利用。

7. 男女マラソン

1) 救護シフト

女子マラソン

Dr.: 11名, Nr.: 17名, PT: 42名, ACA: 8名.

男子マラソン

Dr.: 11名, Nr.: 17名, PT: 42名, ACA: 8名.

2) コース概要 (図4)

大通り公園をスタート/フィニッシュとし、前半南ループ (図5a) と約10kmの後半北ループ (図5b) 3周で構成。スタート直後はさっぽろテレビ塔をバックに進み西一丁目駅で折り返した後、すすきの~中島公園~豊平川を越えてさっぽろテレビ塔へと戻り、後半北ループへと進む。その後、創世川通りを北上し北24条で西へ、北海道大学構内を南下し、北海道旧本庁舎 (赤レンガ庁舎) を通りフィニッシュ横まで戻り大ループ終了。そこから再びさっぽろテレビ塔から小ループに進入し、2周してゴール。

3) 救護配置図 (図5aおよびb)

前半南ループにおける救護所の配備を図5aに



© OpenStreetMap contributors

図4 男女マラソンコース概要

示す。

後半北ループにおける救護所の配備を図5bに示す。

コース上はMedical car (ハイエース) 2台, 救急車2台, 民間救急車2台がメディカル無線を保持した状態で巡航する。

AMSとは別途にコントロールセンターを設け, 各車両統括者およびD-mat 隊員が待機し, 救護ナビによって各車両の位置情報も把握, 情報収集を行う。また, 救急情報管理者 (ACA) はコントロールセンターからメディカル無線にて各所へ搬送指示を出す。

民間救急車にはそれぞれ業務終了後のFOP①②からそれぞれDr. 1名, Ns. 1名, PT1名が乗り込み, その他のFOP①②人員はAMSへと戻る。

FOP③④に配備されたACAはシェアサイクルを利用して担当箇所内を巡回。

北大構内は道路が狭く救急車は進入不可。構内入り口にAPM3台が待機し, 搬送を手助けする。



© OpenStreetMap contributors

図5a 男女マラソンFOP救護配置図(前半南ループ)

FOP
Dr.: 1名
Ns.: 2名
PT: 5名
ACA: 2名 (電動自転車)

- 救急車×2
- 民間救急車×2
- メディカルカー×2
- ピックアップバス



© OpenStreetMap contributors

図5b 男女マラソンFOP救護配置図(後半北ループ)

Finish Line
PT&ACA: 10名
Wheelchair: 6台

FOP 北大構内救護
Dr.: 1名 Ns.: 5名
Ns.: 2名 PT: 5名
PT: 5名
ACA: 2名 (電動自転車)

- 救急車×2
- 民間救急車×2
- メディカルカー×2
- ピックアップバス